

各部会の報告（事務局会議実施日：令和7年3月6日時点）

※前回の開催については、報告済みの会議は除きます。

相談支援部会			
前回の開催内容報告	令和7年2月5日（水）13：30～15：30	参加人数	名
※大雪のため開催中止			
次回開催予定			
令和7年3月5日(水) 13：30～15：00 今年度の振り返りと情報交換			

精神保健部会			
前回の開催内容報告	令和7年2月19日（水）13：30～15：00	参加人数	18名
今月は、情報交換と事例を通じた意見交換や検討を行った。 情報交換では、各関係機関、事情所の近況報告や次年度の体制等について報告があった。 事例検討やケースについての話題提供では、2/4の大雪での被害について、それぞれ困ったことや、対応したことについて話し合った。 医療関係者からは、大雪でバスも不通になり、急遽診察やデイケアが休みなったことや、通院を延期し、薬の確保が難しくなった利用者への対応等について話題が上がった。 就労系の事業所からは、除雪が入らない道路状況で、2日間ほど休止したり、除雪後の送迎に通常の倍以上の時間を要した現況の報告や、グループホームからは食材の確保が難しい状況にあったことがあげられた。 課題として、病院では災害対策本部が設置される等、今回の大雪は、災害レベルだったこともあり、職員や利用者の安全の確保や、事前の対策やマニュアルの見直しの必要性について、日頃から準備できることを改めて確認し、共有することができた。			
次回開催予定			
令和7年3月19日（水）13：30～15：00 今年度の振り返りと情報交換の予定			

就労支援部会			
前回の開催内容報告	令和7年2月13日(木) 13：30～16：30	参加人数	79名
十勝障がい者就業・生活支援センターだいちと共催で「職場実習のより良い活用方法について」をテーマに、十勝管内の福祉サービス事業所、相談支援機関、企業、行政、教育機関などを対象として研修会を実施。 はじめに、行政・企業からの職場実習の報告として、帯広市障害福祉課から採用を前提とせず、働くことの実体験や社会経験を目的とした体験実習の報告、次いでコープさっぽろ伊藤氏から職業適性の確認、能力開発や職域の拡大、ビジネスマナーなどの習得を目的とした企業でのスキルアップ実習の報告、最後にハピオ石田氏から採用を前提とし、職務適正や環境適性の確認を行うマッチング実習の報告を行った。 報告後は体験実習、スキルアップ実習、マッチング実習の使い方やプロセス、企業との情報共有の仕方などをグループワークで話し合い、福祉関係者や企業、教育関係者などがそれぞれの立場での困りごとやアドバイスを情報交換し、就労支援の方法について学んだ。			
次回開催予定			
令和7年5月予定			

医療的ケア児等支援検討部会		
前回の開催内容報告	令和7年2月18日（火）15：00～16：30	参加人数 22名
報告として、帯広市内の保育所・幼稚園・学校等を実施した医療的ケア児実態調査の結果を共有した。また、医療的ケア児等支援ガイドブックの作成の内容について意見交換をし、令和7年3月末の完成へ向けて作業を続けていくことを確認した。 移行期医療プロジェクトでは、帯広保健所・北海道移行期医療支援センターと、帯広市での移行期医療の現状を情報共有している。 令和7年度の部会の取り組みに向けて、今年度の部会の活動の振り返りを参加者から意見をもらい共有した。		
次回開催予定		

計画部会		
前回の開催内容報告	令和7年2月19日（水）15：30～16：20	参加人数 11名
（1）「帯広市障害者共生まちづくりプラン」の評価内容について」 ○ 帯広市共生まちづくりプランの評価・進捗管理の方法（PDCAサイクルによる施策評価・指標の分析・サービス見込量に対する実績把握）を説明し、具体的な評価方法やスケジュール等について説明を行った。 （2）「帯広市地域生活支援拠点等」の評価内容について」 ○ 地域生活支援拠点等の整備に係る評価・進捗管理の進め方（市が行う評価への意見集約）、具体的に使用していく評価シート（案）、評価スケジュールについて説明を行った。 また、評価の考え方については、地域の実情を踏まえながら、今後の取り組みを適時見直ししていく必要があると認識しており、評価項目を含め、部会での議論を行いながら進めていくこととしたもの。		
次回開催予定		
令和7年10月実施予定		

住まいの部会		
前回の開催内容報告	令和7年2月18日（火）13：30～15：30	参加人数 36名
精神障害者の支援における医療機関と住まい（グループホーム世話人等）の連携をテーマに、帯広保健所より「精神障害者に係る十勝圏域の現状報告」、訪問看護事業所2か所より「住まいと医療」についての講演を実施した。その後、参加者がグループになり、感想や情報交換をしたほか、講師がグループを回った際に質疑応答を行った。 以上により、参加者が、保健所や訪問看護の役割・業務内容を知る機会となり、また、住まいに関わる支援者が精神障害者の支援にあたり重要な役割（観察、環境調整等）があることの学びを得た。 テーマに関することのほか、日ごろの業務で生じた疑問の解消や今後の部会運営への意見などについてざくばらんな意見交換が行われた。		
次回開催予定		
時期未定（令和7年度）		